

2015. 1 【vol.52】

# 水レター「びわ湖・よど川」

独立行政法人水資源機構 関西支社 発行

水資源機構全体の取り組みや関西支社管内における情報のほか、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を、水レター「びわ湖・よど川」により、関係機関の皆様にお知らせします。

index

1. 新年のご挨拶 ～ 水資源機構関西支社長 自閑茂治 ～ 1p
2. 関西支社管内の気象と水源状況 2p
3. イベント情報 4p

編集後記



水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構

# 1. 新年のご挨拶

## 淀川流域に安全と安心を

独立行政法人水資源機構関西支社長

じかん しげはる  
自閑 茂治

平成 27 年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
皆さまには、日頃から当機構の業務運営に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。



さて、私ども関西支社においては、当機構の「安全で良質な水を安定して安くお届けする」との経営理念のもと、淀川水系の 7 つの既設ダム、琵琶湖開発施設及び正蓮寺川利水施設の管理業務、並びに川上ダム及び丹生ダムの建設事業を実施しております。

昨年は、8 月上旬までの前半は渇水、8 月中旬からの後半は相次ぐ出水という年であり、これまで建設、管理してきた淀川水系におけるダムなどの水資源管理施設の効能とその必要性と重要性が改めて認識される年となりました。

前半の渇水では、特に 4 月～7 月までの流域雨量が平年比で約 40～60% と少なく、雨の少ない下流受益地に対してダムからの水を補給した結果、8 月上旬には兵庫県猪名川の一庫ダムで平成 16 年以来 10 年ぶりとなる取水制限が実施され、その他の水系のダムでも取水制限寸前に至るまで、ダムの貯留水を活用しました。

一転して後半は、8 月の台風 11 号、10 月の台風 18 号と 19 号の接近や上陸、またその間の前線等の影響により、淀川水系全体で計 8 回の洪水に対する防災態勢を構築しました。これらは、京都府桂川嵐山の洪水映像として記憶に新しい平成 25 年台風 18 号（なお、この洪水に対する淀川水系の各ダム群による洪水調節は、平成 25 年度土木学会賞技術賞を受賞しています。）に次ぐ規模の出水でありましたが、各ダムでの洪水貯留によって下流河川の水位を著しく低下させ、浸水被害の防止と軽減については淀川流域住民の皆様の生命と財産を守ることにつながりました。

このように近年の気象や水文状況は、激烈さを増してきていますが、私ども関西支社では、今後とも治水と利水の両面にわたり、各水資源管理施設の管理・運用に万全を期すとともに、「ダム検証」の結果として「継続」と位置づけられた川上ダムの建設事業についても着実に実施してまいります。

本年もさらなるご支援とご協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

## 2. 関西支社管内の気象と水源状況

12月の気象状況は、気象庁の発表によると、低気圧が数日の周期で日本付近を通過後、強い冬型の気圧配置となる日が多く、上旬の中頃、中旬の中頃から終わり頃、下旬の中頃などに日本付近に強い寒気が流れ込みました。

このため月平均気温は全国的に低く、北・東・西日本の日本海側では、曇りや雪又は雨の日が多くなり、沖縄・奄美でも曇りや雨の日が多くなりました。

降水量は、沖縄・奄美を除いて全国的に多く、特に北日本の日本海側で平年比154%、東日本の日本海側で平年比222%となり、12月としては、統計を開始した1946年以降で最も多い記録を更新しました。

北海道の倶知安（くっちゃん）、富山県の伏木（ふしき）、岐阜県の高山（たかやま）などの11地点では、12月の月降水量の多い方からの1位の値を更新しました。

月最深積雪は、北陸地方から東北地方で2mを超えた所があったほか、アメダスを含めた全国322の観測地点のうち、北・東日本の14地点で12月としての月最深積雪の最大値を更新しました。

近畿地方の降水量は、降水量の平年比で見ると、日本海側で135%、太平洋側で177%となり、平年比を大きく上回る結果となりました。

なお、関西支社管内の各ダムでは現在のところ渇水の心配はありません。

水資源機構の関西支社管内における各ダムの貯水状況は、関西支社ホームページの水源情報に掲載しております。

※ 関西支社管内の各ダムでは、10月16日より平常時最高貯水位に向けて貯留を開始しております。

**水資源機構関西支社 HP ↓↓↓**

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/suigen/suigen.html>

# 流域・水源の雨量・貯水量・貯水量一覧表

2015年1月9日 9時00現在

ダム名	水位		貯水量			流量		補給量(※1) (過去3ヶ月:9月~11月)				雨量(ダム地点)(※2) (過去3ヶ月:10月~12月)							
	貯水位 (標高m)	貯水量 (万m3)	貯水率 (%)	平年 貯水量 (万m3)	平年 貯水率 (%)	貯水量 平年比率 (%)	ダム流入 量 (m3/s)	ダム放流 量 (m3/s)	当日9時の 補給量 (m3/s)	H26累計補 給量(過去 3ヶ月)(万 m3)	平年ダム 累計補給 量(過去3ヶ 月)(万m3)	補給量平 年比率 (%) (過去3ヶ 月)	H26.1月補 給量(1日~ 8日)(万m3)	平年1月月 間補給量 (万m3)	H26累計 雨量 (過去3ヶ月) (mm)	平年累計 雨量 (過去3ヶ月) (mm)	雨量平年 比率 (過去3ヶ月) (%)	H27.1月 雨量 (1日~8日) (mm)	平年1月 月間雨量 (mm)
高山ダム	127.86	3,263	66.3	3,579	72.7	91.2	7.50	0.00	0.0	195	458	42.6	0	155	256	239	107.1	19	51
青蓮寺ダム	276.46	1,862	97.5	1,546	80.9	120.4	2.03	2.04	0.0	98	212	46.2	4	49	276	252	109.5	16	51
室生ダム	293.88	1,177	88.5	992	74.6	118.7	2.12	1.23	0.0	121	118	102.5	0	23	320	275	116.4	25	50
布目ダム	279.52	923	72.7	992	78.1	93.1	1.75	1.20	0.0	164	134	122.4	10	57	281	255	110.2	20	51
比奈知ダム	300.50	1,494	97.6	1,326	86.7	112.6	1.30	1.09	0.0	75	63	119.0	2	10	339	286	118.5	17	50
一庫ダム	142.75	1,994	74.4	1,314	49.0	151.8	2.10	0.52	0.0	26	277	9.4	0	88	248	230	107.8	14	40
日吉ダム	190.25	3,392	94.2	3,052	84.8	111.2	16.36	15.85	0.0	349	474	73.6	0	115	259	262	98.9	13	48

湖沼名	水位(※3)		雨量(※4) (過去3ヶ月:10月~12月)					
	(B.S.L)	平年 水位 (m)	平年値 との差(m)	H26累計 雨量 (過去3ヶ月) (mm)	平年累計 雨量 (過去3ヶ月) (mm)	雨量平年 比率 (過去3ヶ月) (%)	H27.1月 雨量 (1日~8日) (mm)	平年1月 月間雨量 (mm)
琵琶湖	0.05	-0.34	0.39	452	350	129.1	53	120

※ 貯水率は、10月16日より非洪水期の利水容量で計算しております。

※ 水位(琵琶湖を除く)、貯水量、流量は当日9時のデータです。琵琶湖水位は当日6時のデータです。

※ 補給に関する累計補給量・当日までの補給量・月補給量は日平均値(前日1時から当日0時の累計より算定しております)。

※ 補給量は、洪水調節時のダム調節量を控除し、(日平均ダム放流量-日平均ダム流入量)で計算しております。

※ 当日0時の補給量は瞬時値として当日9時における流入量と放流との差で表しております。

※ 雨量に関する累計雨量・当日までの雨量・月雨量(琵琶湖除く)は日雨量(前日1時から当日0時の累計より算定しております)。

※ 琵琶湖雨量に関する累計雨量・当日までの雨量・月雨量(琵琶湖除く)は日雨量(前日7時から当日6時の累計より算定しております)。

※ 補給量、雨量(琵琶湖除く)の平年累計値は平成11年4月以降(7月以降)のデータを使用しております。

※ 琵琶湖雨量の平年累計値は平成4年4月以降からのデータを使用しております。

流域名	雨量(※5) (過去3ヶ月:10月~12月)				
	H26累計 雨量 (過去3ヶ月) (mm)	平年累計 雨量 (過去3ヶ月) (mm)	雨量平年 比率 (過去3ヶ月) (%)	H27.1月 雨量 (1日~8日) (mm)	平年1月 月間雨量 (mm)
枚方上流域	283	292	96.9	50	71
桂川流域	232	287	80.8	47	62
宇治川流域	202	258	78.3	27	50
木津川流域	236	257	91.8	48	48
猪名川流域	268	246	108.9	12	43

※ 暫定値であり数値は変動する場合があります。

※ 雨量の平年累計値は平成6年からのデータを使用しております。(20年間)

※ 猪名川流域は、ダム下流の上池田地点雨量を使用しております。

(出典:国土交通省水文質子データベース)

# 3. イベント情報

## ☆ ダムマラソン

○ 第30回記念 月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会 開催日:平成27年2月15日(日)

出場受付:平成27年1月16日(金)まで

大会HP:<http://www.e-marathon.jp/tsukigase/>

○ 第29回 名張青蓮寺湖駅伝競走大会 開催日:平成27年2月22日(日)

出場受付:平成27年2月4日(水)まで 先着申し込み90チーム

名張市HP:<http://www.city.nabari.lg.jp/hp/page000020800/hpg000020745.htm>

(関西支社 利水者サービス課)

## 水源地マラソン紀行・編集後記(H27年新年編)

明けましておめでとうございます。

昨年も水源地でのマラソン大会に多く出場いたしました。また、去年は幸い、5倍の難関を突破し、10月の大阪マラソンに出場しましたが、高温のため、30km過ぎから脱水症状で足が付き、完走したもののワースト記録を更新してしまいました。1ヶ月後に家内が走った神戸マラソンの記録の方が良かったこともあり、ショックが倍増、残念な1年でした。

今年もできる限り水源地でのマラソン大会に参加していきたいと思いますが、残念なことに、毎年5月に開催されていた「日吉ダムマラソン」が16年の幕を閉じ、終了してしまうことが発表されました。救護体制の見直しにより、安全性を確保できなかったことが理由とのこと。日吉ダムマラソンと言えば、最後のゴールへ向かう急坂は関西の水源地マラソンの中でもベスト3に入るほどしんどいコースで、人生の試練が最後に凝縮した修行のような大会でしたが、日吉ダムの堰堤を走破できること、ダム湖の眺望もすばらしく魅力ある大会で毎年、多くの参加者で賑わっていただけに大会終了は非常に残念です。水源地の過疎化や高齢化で担い手が不足していることも要因の一つではないでしょうか。そういう意味では走ることだけではなく、ボランティアで運営にも参加したいと思います。

何れにせよ、これまで大会運営に携わってこられた多くの関係者の方々に深く感謝申し上げます。

今年も当面、以下の大会に出場する予定です。大会などでお会いしたら気軽にお声かけしてください。皆様とお会いできることを楽しみにしています。

(ダムを走る男)

◎今年目標「マラソンボランティアで参加する」

※大会運営に何らかの形でお手伝いしたいと思います。

【今後の参加予定の大会】

- 1月 武庫川新春ロードレース (流域外)
- 2月 月ヶ瀬梅溪早春マラソン (高山ダム)
- 3月 淀川国際マラソン (淀川)



記録は今一、ダムを走る男

Japan Water Agency



独立行政法人  
水資源機構

水資源機構ツイッター

[http://twitter.com/jwa\\_PR](http://twitter.com/jwa_PR)

水資源機構関西支社

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai>